

令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

島根県

行事名称	松江城消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和 8 年 1 月 26 日（月）10：00～11：00
実施場所	国宝松江城天守（島根県松江市殿町 1 番地続 6）
主催者	松江市文化スポーツ部、松江市消防本部

■実施内容

訓練の想定

- ・午前 10 時頃、松江城天守 5 階において、観光客が所持していたモバイルバッテリーから出火し、逃げ遅れが数名発生していると想定。
- ・松江城天守および本丸に設置された消火設備を使用して放水することを想定。

訓練の内容

- ・松江城自衛消防隊（松江城管理事務所職員）による火災発見および通報、自力避難者の誘導訓練を実施。
- ・松江城自衛消防隊による初期消火、公設消防隊による救出訓練、島根県防災ヘリと連携した情報収集訓練を実施。
- ・松江城自衛消防隊、公設消防隊、消防団との連携による一斉放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

- ・松江城自衛消防隊（松江城管理事務所職員）（15 名）：119 番通報、城内アナウンス、初期消火、自力避難者の避難誘導、公設消防隊への情報伝達、放水銃による消火訓練
- ・公設消防隊（6 隊 20 名）：指揮本部設置訓練、応急救護所設置訓練、防災ヘリとの情報伝達訓練、要救助者の救助救出訓練、屋外消火栓と可搬式ポンプによる消火訓練（消防団と連携）
- ・松江市消防団（2 隊 12 名）：屋外消火栓による消火訓練（公設消防隊と連携）、消防警戒区域設定訓練
- ・松江市観光ボランティアガイドの会（13 名）：天守からの避難者役を体験
- ・島根県防災航空隊（1 機）：上空偵察および情報伝達訓練

特に工夫した点

- ・公設消防隊の訓練に際しては、「松江城天守閣警防計画」に基づいた訓練を実施した。火災発生時の対応を想定して各隊員の行動を確認した他、既設の消火設備を最大限に活用して火災時の消火能力を確認した。
- ・日常から来場者向けの観光ガイドに従事するボランティアスタッフに避難者役を体験して貰うことで、非常時の際の対応をイメージして貰う機会とした。

問題点・課題

- ・松江城天守は、標高約 28m の本丸内に位置するが、石段や一ノ門が存在するため、消防車両は本丸内までは入れないという立地条件がある。このため、城内に配備された消火設備でいかに迅速かつ効率的に初期消火に当たることが出来るかが鍵となる。
- ・こうした課題を克服するために、令和 6 年度末までに消火設備を全て更新するほか、火災の早期発見のために必要な感知器や受信機、監視カメラの整備も実施した。
- ・今後は、一連の設備を的確に活用できる体制整備を図る必要がある。

その他

- ・毎年文化財防火デーにあわせて消火訓練を行い、PR することで、市民の文化財愛護意識の向上を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要と考えている。

訓練風景

別紙のとおり



自衛消防隊出動状況



消火設備準備状況（可搬式ポンプ）



要救助者の救助救出訓練



応急救護所の設営、トリアージ実施状況



放水銃・屋外消火栓・可搬式ポンプによる一斉放水



訓練終了式、消防長による演習講評